

## 第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	市民公開講座
タイトル	施設での看取りを考える ～看取りの障害になっているものはなにか～
日 時	平成 25 年 3 月 31 日 13 : 30～15 : 30
会 場	真珠の間A
演 者	医療法人ゆうの森 たんぼぼクリニック・亀井修先生、長尾クリニック・長尾和宏先生、アミーユよんでん道後・竹内直人様、託老所あんき 代表・中矢暁美様、株式会社スローライフ・喜井茂雅様、アユーステーション松山・大野定治様
企画趣旨	<p>今般、病院の機能分化、急性期病院での在院日数の短縮化が進み、急性期病院での看取りは困難な状況となっています。また、療養型病床数は高齢者人口の増加に追いつくどころか、むしろ減少の方向で厚生労働省は考えており、病院での看取りはこれ以上増やせない状況となっています。</p> <p>現在は病院において死を迎えるということが一般的ですが、国は在宅医療を推進し自宅での看取りの選択枝を広げようとしています。しかし、介護力のない場合、自宅での看取りには限界があり、今後、多死社会をむかえ自宅以外の多様な高齢者対応施設がその役割を担うことに期待が寄せられています。</p> <p>このような社会情勢の下、日本在宅医学会では「施設での看取りを考える」というシンポジウムを企画しました。高齢者施設で看取る上での問題点や施設での看取りの阻害因子の解決策などを意見交換し、多職種が知恵を出し合い、関係機関と協力体制を整え、本人が望む住み慣れた場所でのよりよい看取りができる地域にしていけたらと願っております。</p> <p>共に語り合いましょう。 よろしく願いいたします。</p>